

キラリスト ちょっと聞かせて!



こまつ あいか
小松 愛香さん
みはらタコのつぼ 店長
三原継ぎの輪会 代表

「継ぎの輪」とは、後継・知恵の輪・人の輪を合わせた造語。古き良きものを大切に、世代を超えて共有し、語り継ぎ、知恵を継ぎ、また知恵の輪のごとくその過程を楽しみ、人のつながり、「輪」を大切にすることをイベントを通して体験・体感していただくことを目的とした会

皆さんは、7月～9月の3ヶ月間、期間限定で三原駅前設置されていた「みはらタコのつぼ」に行かれたか? 今回のキラリストは、その「みはらタコのつぼ」で店長をされていた小松愛香さんです。

地域でのイベントの企画や交流、「るぶFREE増刊号三原」の編集に携わったりしたことがきっかけで、「人とのご縁が生まれ、とてもよい経験にもなる」との思いから、店長を引き受けられたそうです。お店では、タコ料理店、タコを使った特産品などのタコ関連の観光情報案内を中心に、Facebookなども活用しながら、三原の魅力を発信されました。広島県デスティネーションキャンペーンの影響もあり、関西からの旅行者や仕事で来られ利用される方も多かったそうです。また、期間中は、三原にちなんだおみやげ作りのお手伝いをされたり、タコをモチーフにした手作りの販売、子どもも参加できるワークショップなども開催されました。

日頃は、フリーマーケットや手づくり市の企画や開催など、積極的に活動されています。また、東日本大震災の際には、その翌日に予定していたフリーマーケットが中止になったため、自宅前で手作りの売り上げの一部を義援金として送るチャリティイベントを開催されました。また、義援金と救済物資の受付を行い、送られた

そうです。他の団体などと一緒に企画や開催をすることで生まれる、新しい出会いや経験から、「小さくてもイベントを主催したり、店を持ち活動されている人たちの挑戦を応援し、そのお手伝いをしたりできればいいな。また、その活動を通じて、人との輪がさらに広がれば嬉しい」と語られました。小松さんの行動力は、「人任せではなく、自分のやれる範囲でやってみることが大切」という気持ちと、「三原には、魅力がたくさんある。おいしい食べ物も紹介したい。素敵な場所も、たくさんある」という三原への深い愛情が源となっています。もっとたくさんの人に、三原の魅力を知らえるように、スマートフォンでも読める電子書籍を作られるなど、積極的に三原の情報も発信されています。「なかなか一人ではできないこともあるけれど、イベントなどの開催を通じてたくさん人と出会い、その出会いを通して活動への協力者や仲間の輪が広がっている」と活動の楽しさを感じられています。

「三原のことをもっと知り、まちで道を聞かれた時にも、ひとこと三原の魅力を自分の言葉で伝えられることができれば、とても素敵だな」と話される明るく素敵な笑顔が印象的でした。

これからの活動についてお聞きすると、『みはらタコのつぼ』での経験を生かしながら、代表を務める『三原継ぎの輪会』での、手作りのフリーマーケットなど、地域に密着したイベントの開催、今年9月に、三原観光協会に採用された3人の観光コーディネーターとも交流を深めながら、より多くの人に三原に興味を持っていただけるよう、引き続き、三原の観光などの情報をブログで発信していきたい」と、力強く話してくださいました。



編集後記

初めて参加させて頂きましたが、男女共同参画に関する三原市の取り組みを知ることができて大変有意義でした。(花田) みんなが安心して心豊かに暮らせる社会へ向けてのきっかけになれば嬉しいです。(林) 見えないものは見えない。“気づき”が必要。三原市の地域課題について考えてみたい。(松本) 本号は、公募の編集委員によるものでした。30代から70代と幅広い構成です。どの世代にも読んでいただけるように編集しようと思っています。(丸山)

みはら再発見!

男女共同参画社会をめざす情報誌
ウィズユー

with YOU

あなたとともに... 第13号



認めあい 共に歩もう 多幸のまち



平成24(2012)年度男女共同参画施策の進捗状況

市では、男女共同参画社会の実現を総合的かつ計画的に推進するため、「三原市男女共同参画プラン(第2次)」【計画期間 平成24年度～平成28年度】を策定し施策を推進しています。

情報誌で市民の皆さんに、三原市男女共同参画プラン(第2次)で目標値を設定している施策のうち、平成24年度の主な進捗状況を公表します。

基本目標①男女共同参画を進めるための人づくり

評価項目		平成23年度	平成24年度	目標 (平成28年度)
政策・方針決定過程 への女性の参画促進	女性リーダー育成塾(仮称)の開催	—	1回	1回以上
	女性委員候補者リスト新規登録者数	—	10人	25人
	男女共同参画セミナーの参加者数	207人	227人	255人以上
	各種審議会における女性委員の割合	23.2%	23.6%	30%以上
教育・学習の推進	新学習指導要領の内容に即した 指導計画の作成	—	—	整備
	男女共同参画に関する世代別 教育プログラムの整備・充実	—	—	整備

基本目標②男女共同参画を実現するための環境づくり

評価項目		平成23年度	平成24年度	目標 (平成28年度)
広報・啓発の充実	市民協働ホームページへの登録団体数	54団体	74団体	120団体(H26)
職場における 男女共同参画の推進	家族経営協定の締結数	0件	0件	7件
	女性の参画により「6次産業化」 など経営の多角化を進めている 法人数	2法人	2法人	5法人
	起業家支援セミナー受講者数(累計)	3人(H22)	9人	25人
家庭における 男女共同参画の推進	男性向け介護教室の開催	—	—	実施
	家族介護者交流事業の男性参加者数	49人	67人	60人
	延長保育事業実施箇所数	11カ所	12カ所	11カ所(H26)
	休日保育事業実施箇所数	1カ所	1カ所	1カ所(H26)
	病児・病後児保育事業実施箇所数	3カ所	3カ所	4カ所(H26)
一時預かり事業実施箇所数(幼稚園)	6カ所	6カ所	7カ所(H26)	
男女間の暴力の根絶に 向けた取組みの推進	相談しやすい体制 (人口10万人当たりの相談件数が県平均以上)	280件(H22)	219件	300件
地域における 男女共同参画の推進	地域別ミニ集会の参加者数	142人	86人	150人

基本目標③男女共同参画を支える社会づくり

評価項目		平成23年度	平成24年度	目標 (平成28年度)
市民団体等との協働に よる男女共同参画の推進	出前講座の利用件数	871件(H22)	964件	890件以上
生涯を通じた 健康づくり支援	朝食を食べる人の割合	86.1%(H20)	87.3%	90%以上(H26)
	乳がん健診の受診率	15.1%(H20)	23.1%	28%以上(H26)
高齢者等が安心して 暮らせる環境づくり	要介護認定率	19.9%(H22)	20.8%	20%(H26)
	認知症サポーターの人数(累計)	7,100人	7,846人	8,900人(H26)
子どもがのびのび 育つ環境づくり	つどいの広場の設置	1カ所	1カ所	3カ所
	放課後児童クラブの設置	22カ所	22カ所	23カ所
	子育て支援総合コーディネーターの配置	—	—	実施
国際交流や国際協力 の取組みの推進	日本語学習支援ボランティア 養成講座受講者数(累計)	63人	94人	300人

(注)目標欄にカッコ書きで表記されている年度は、他の計画により定められている目標年次です。

今後も皆さんの一層のご理解とご協力をお願いします。

三原市男女共同参画推進条例制定記念日講演会

～仕事も家庭も一生懸命！～出会いの人生から学んだこと



講師プロフィール

菊地 幸夫(きくち ゆきお)さん

弁護士(第二東京弁護士会)。番町法律事務所。
中央大学法学部卒業。元司法研修所刑事弁護教官。
現在、社会福祉法人練馬区社会福祉事業団理事も務める。2007年7月から、日本テレビ「行列のできる法律相談所」及び2011年4月から、日本テレビ「爽快情報バラエティー スッキリ!!」にレギュラーとして出演。弁護士業務の傍ら体力づくりにも動かし、各地のトライアスロン大会へも出場。また、地元小学生のバレーボールチームの監督等も務めている。

9月28日、本郷生涯学習センターにいたかホールにおいて、講師に菊地幸夫さんをお迎えし、「三原市男女共同参画推進条例制定記念日講演会」を開催しました。

菊地さんは、本業の弁護士業務の傍ら、日本テレビ「行列のできる法律相談所」及び「爽快情報バラエティー スッキリ!!」にレギュラー出演されるなど多忙な日々をお過ごしです。

各地のトライアスロン大会への出場、地元小学生やママさんバレーボールチームの監督を務める日々を人間味溢れる口調で語っていただきました。

「子どもにはテレビに出ていく芸能人ではなく、近所のおじさんとして関わりたい」

「自分の心の中に浮かんだアイデアを大事にしてもらいたい」

「自分で判断する・自分で問題を解決する能力を子どもの頃から育てていく必要がある」

どんなに忙しくても地域コミュニティの中で生きることによって価値を見出している菊地さんは、充実した幸せな日々を今後もおくり出されることなのでしょう。

講演の参加者からは、菊地さんのお話を伺い、自分の生き方を見つめ直したとの感想が多く寄せられました。家族、友達、職場やサークルの仲間との人間関係づくり、健康維持、レクリエーション、趣味、ボランティアなどに今一度目を向けてみませんか。

だれもが安心して心豊かに暮らせる社会をつくるために、男女共同参画社会の実現に取り組んでいきましょう。

市民企画の「第1回三原いきいきセミナー」開催

8月24日、ペアシティ三原西館2階 大会議室において、アゼリアガイドみはらの小森キヨミさんが、「てくてく三原のまち再発見」と題して、スライドによるガイドをしていただきました。三原が好きになり、人もまちもいきいきと元気になれるセミナーでした。



三原は城下町

三原は、約450年前小早川隆景が築城し、東西に城下町が作られてきたまちです。三原駅北側の隆景広場にある小早川隆景の像前からガイドを始めます。三原城天主台跡や城を囲むようにゆかりのある寺や名所旧跡が数多くあります。

民俗資料・生活文化・天然記念物

久井町の節句どる人形は、久井歴史民俗資料館に数多く保存展示されています。三原のタコは、足が太く短いのが特徴です。きれいな海でエビ、カニなどを食べて大きくなるのでおいしいです。また、地形もタコの生息に適しています。

JR呉線を走る瀬戸内マリビューの車窓からみえる幸崎沖の有竜島に生息するナメクジウオは、国の天然記念物に指定されています。

世界にはばたく産業

大和町の錦鯉の養殖は、古くから盛んで、今では、世界各国と取引があるそうです。久井町・大和町で作られるジャガイモは、ポテトチップスの原料としてメーカーが使っています。

見ごろ・食べごろ・訪れ時

久井の岩海入口には、5月～6月にかけて、エゴノキの

白い花が咲いています。三原のタコは、夏と冬が旬です。大和町の樓真寺の前のハス池には、7月～8月早朝、ハスの花が咲き、訪れ時です。本郷町の広島空港大橋「広島スカイアーチ」は、日本一長いアーチ橋です。

ガイド活動を通して思うこと

過去を変えることはできないが、見直すことはできます。また、人間には予想のつかないことがあります。その時をどう生きるかが自分の力だと思います。私が今、そしてこれからも力にしていける言葉は、ノートルダム清心学園理事長 渡辺和子先生の『置かれた場所で咲きなさい』です。

三原いきいきセミナーは、男女共同参画社会についての理解を広めるとともに、人材育成を図るために、みはらウィメンズネットワークの企画により開催しています。

第2回三原いきいきセミナー

日時 11月2日(土) 13時30分～15時
会場 ペアシティ三原西館2階 大会議室
内容 人形劇「泣いた赤鬼」ほか
講師 県立広島大学三原キャンパス 助教 大内 隆さん
出演 県立広島大学三原キャンパス パペットサークルげんき組
定員 70人(先着順) 参加費無料

お知らせ